

～ 侵入犯罪に備えましょう ～

茂原市内では、現在もなお、電話 de 詐欺や窃盗など、身近なところで様々な犯罪が発生しています。戸建て住宅や集合住宅等に侵入して、金品等を盗む犯罪を「侵入窃盗」といい、「侵入窃盗」は時として強盗等の凶悪事件に発展する恐れがあります。大切なご家族やご自身の生命・身体・財産を犯人から守るために、日頃から防犯対策をしっかり行いましょう。

【 侵入犯罪の脅威 】

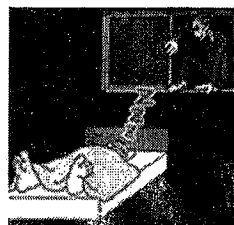
1 侵入犯罪とは

- ◇ 住宅などの建物に侵入して行われる犯罪で、凶器等を示すなどして家人を脅し、金品を強奪する「侵入強盗」と金品を盗む「侵入窃盗」及び「住居侵入」をいいます。
- ◇ 侵入窃盗のうち一般住宅を狙う「空き巣」・「忍び込み」・「居空き」を住宅対象侵入窃盗としています。

空き巣



忍び込み



居空き



2 被害例

- ・現金、預金通帳、貴金属、キャッシュカード、パスポートなどの大切な金品が盗まれます。
- ・パソコンなどの電化製品も被害に遭います。パソコンの場合、住所録や家計簿などの個人情報もいっしょに盗まれてしまいます。
- ・鉢合わせになり、とっさに家庭の包丁などを使って強盗に変身することもあります。
- ・帰宅するのを待ち伏せし、キャッシュカードを奪って暗証番号を聞き出し、現金を引き出したり、女性への暴行に及ぶこともあります。
- ・侵入された後「部屋を荒らされた恐怖感」や「また、誰かが侵入してくるのではないか」という不安感が残ります。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

Tel 0475-20-1505 (月～金 8:30～17:15)

3 侵入犯罪の脅威










全国的な刑法犯認知件数は、戦後最少となった令和3年以降、再び増加傾向にあり、住宅を対象とした侵入窃盗の認知件数も増加しています。

また、最近では「宅配業者を装う」、「窓ガラスを破壊して住宅に押し入る」等、悪質な手口による侵入強盗事件も発生しています。





4 器具で見る侵入犯罪の脅威

侵入者は、手(手口)を変え、品(侵入器具)を変え、様々な方法で建物に侵入してきます。

【主な侵入・破壊器具】

バール	ドライバー	電気ドリル
		
パイプレンチ	レンチプライヤー	金切り鋏
		
ニッパ	ガラス切り	金槌
		

【主な開錠専用器具】

ピッキング用具	破壊用シリンダー回し	鍵穴壊し用ホールソーとシリンダー用軸	サムターン回し
			

5 自主防犯行動の促進

- ① 在宅時でも、出入口や無人の部屋の窓に鍵をかける習慣を身につける。
- ② 訪問者に対しては、不用意にドアを開ける前にドアスコープやインターフォン越しなどで確認する。
- ③ 外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないかよく確認する。
- ④ 日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えておく。
- ⑤ 玄関をツーロックにしたり窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる。
- ⑥ 旅行などで家を長期不在にするときは、ご近所へ声をかけ合ったり、郵便物・新聞などの配達を止めるなどの注意も必要。
- ⑦ 合鍵の不正作成を防止するため、鍵を家族等以外の必要のない人に「見せない」、「渡さない」、写真や動画で「写さない」ようにする。
- ⑧ 自宅に必要以上の現金を置かない、電話等で在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えない。